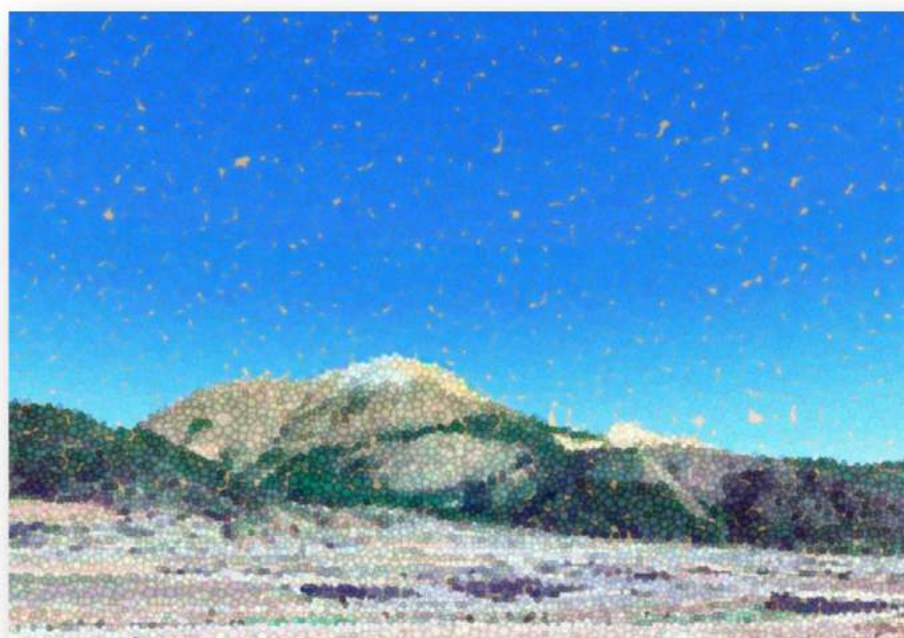


第47回 まちづくり研究セミナー

JIA建築展19・日韓合同学生ワークショップinゆふいん作品展

「風景とコミュニティのためのしなやかなデザイン」

報 告 書



2018.3

まちづくり研究セミナー事務局
(公社)日本建築家協会 九州支部 北福岡地域会

■ JIA建築展19・日韓合同学生ワークショップinゆふいん作品展

期 間 2018年2月6日(火曜日)

会 場 小倉駅3階 JR改札前JAM広場
福岡県北九州市小倉北区浅野一丁目

主 催 まちづくり研究セミナー事務局
(公社)日本建築家協会九州支部北福岡地域会

共 催 北九州市

後 援 建賛会

入 場 料 無料

出 展 品 パネル:47枚 模型:4点

■ 日韓合同学生ワークショップinゆふいん参加校作品 28枚

□ 日本の参加校

日本文理大学 菅研究室チーム
九州工業大学 佐久間研究室チーム
北九州市立大学 赤川研究室チーム
福田研究室チーム
九州産業大学 矢作研究室チーム
近畿大学 益田研究室チーム
九州職業能力開発大学校 岩下研究室チー.

□ 韓国の参加校

釜山大学 Yoo研究室Aチーム
Bチーム
東亜大学 Oh研究室チーム
東西大学 Oh研究室Aチーム
Bチーム
釜慶大学 Jihwa研究室Aチーム
Bチーム

■ ワークショップ講師の新人賞受賞作品

2016年度JIA新人賞受賞

□ 栗原 健太郎 岩月 美穂 1枚

スタジオヴェロシティ一級建築士事務所
作品:愛知産業大学 言語・情報共育センター

□ 松岡 聡 田村 祐希 1枚

一級建築士事務所 松岡聡田村祐希
作品:裏庭の家

■ JIA九州支部 北福岡地域会会員作品他

□ 建築展開催主旨 1枚

□ 北福岡地域会会員作品 8枚

□ 地域会活動報告(震災関係) 2枚

□ 東北震災関係 6枚

■ スタッフ

(地域会長)	永澤 正哉	(建築展実行委員長)	塩釜 直人
(副会長)	松島 逸人 戸村 一樹	(建築展実行副委員長)	小原 光晴
(幹事)	三迫 靖史 熊谷 平一郎	(建築展実行委員会)	
	佐久間 治 杉野 友紀	浅田 典生 安東 崇夫	安東 秀夫
(相談役)	服巻 良樹	加藤 史衛 金子 英造	松岡 伸二
		満井 輝吉	

当日の活動 ■ パネル展の維持・安全管理(1時間毎に幣会会員と建賛会会員で実施)

■ ワークショップの評価をしていただき、投票してもらう(粗品景品付)

■ リーフ配布(北九州市建築指導課樫本課長、藤尾係長、緒方さんにも協力いただいた)

<前日2月5日 準備の様子>



2月5日(月)16:30より設営準備開始。
当日までに、各担当者がパネルを製作、
又、協力会社にパネル加工等をしていただく。
夕方の通勤ラッシュが始まる前に場所を確保して、
作業開始。
弊会所有パネル以外に、JAM広場を管理する
オフィスJAMさん、AIMを管理しているKIPRO
(株北九州輸入促進センター)さんにも協力いただき
展示パネルを貸与してもらう。



手分けして、パネルの準備。

当日の作業内容は、

- ・ 上部ラインの加工・貼付
- ・ キャプションの設置
- ・ パネルの張付
- ・ 模型の展示
- ・ 各パネル等のレイアウト
- ・ 受付等の準備
- ・ カラーコーン等で養生

極寒の中での作業は困難を極めた。



パネルの組み立て加工

組み立て終了後、それぞれの設置場所へ移動
強風にも飛ばされないように重りも設置

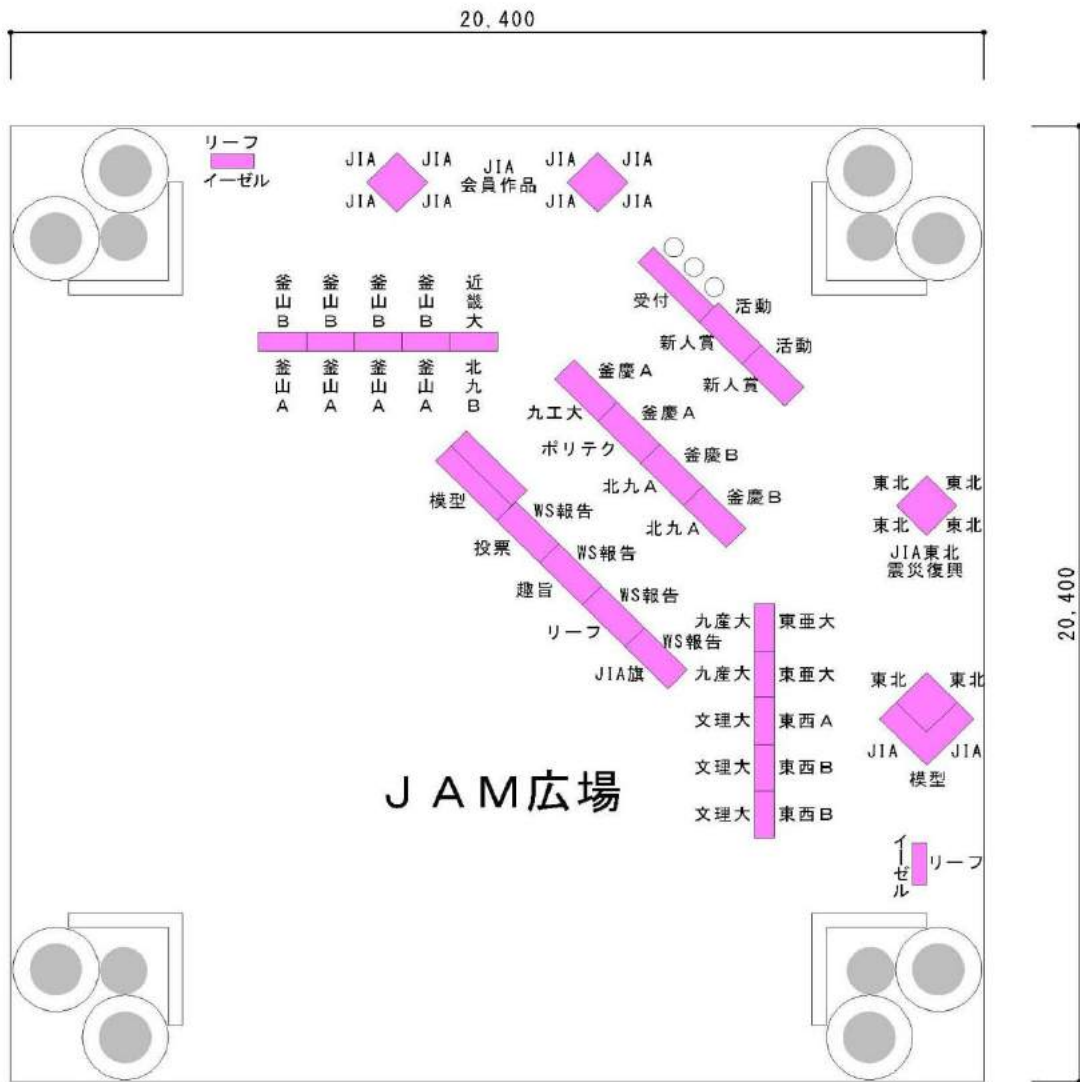


手分けして、加工した上部ラインを貼付

終了後、キャプションの貼付

位置を揃えて、製作したパネルを設置

<JAM広場 展示レイアウト>



改札口

<当日2月6日の様子>





<総括>

当日は、共催いただいた北九州市建築指導課からも、樋本課長、藤尾係長、緒方さんにも協力いただき、広くビラの配布も御手伝いいただきました。

御陰様で、パネル展当日は、平日にもかかわらず、多くの市民の方に見ていただきました。

通勤、通学の方、旅行の待ち合わせの途中で寄っていただいた方々、外国の方も多数見ていただき、色々とお声掛けをしていただきました。

140人の皆さんに投票いただいた結果を下記に集計させていただきます。

投票いただいた結果とコメントの一部も掲載させていただきます。

御協力いただいた皆様、ありがとうございます。

・ 日本文理大学 菅研究室チーム	6票
・ 九州工業大学 佐久間研究室チーム	35票
・ 北九州市立大学 赤川研究室チーム	31票
・ 福田研究室チーム	8票
・ 九州産業大学 矢作研究室チーム	11票
・ 近畿大学 益田研究室チーム	2票
・ 九州職業能力開発大学校 岩下研究室チーム	5票
・ 釜山大学 Yoo研究室Aチーム	7票
・ Bチーム	14票
・ 東亜大学 Oh研究室チーム	2票
・ 東西大学 Oh研究室Aチーム	9票
・ Bチーム	3票
・ 釜慶大学 Jihwa研究室Aチーム	3票
・ Bチーム	4票

アンケートのコメント

- ・ 大学の研究内容について知る機会になりました。
- ・ 様々な条件を与えられ客観的なデータを集め、国を超えてアイデアを出し合うことはとても貴重な経験になったと思います。とても面白いアイデアが多く勉強になりました。
- ・ 居場所をテーマとしたもの、時間軸に注目したもの、景観に注目したもの等、様々な切り口からの提案がみられて興味深かったです。
- ・ みなさんそれぞれに違う考え、コンセプトがあり、それぞれ自由な発想と決められた課題からたくさんのイメージがみられて、とても勉強になりました。
- ・ 建築を考えるのではなく、中間領域の操作によってコミュニケーションを操作している点がおもしろいと思います。
- ・ 釜山大学Aチームの作品図面表現はとてもよかったです。
- ・ 通りがかりでしたが、こういうワークショップは有意義だと思います。韓国の大学(釜山)のレベルが高いと感じました。
- ・ 釜山大学Bチームの考え方がおもしろい
- ・ 九州工業大学の模型がよく(ビジュアル)を含めて出来ていると思います。建築家の方々のご活躍を期待しております。頑張ってください。
- ・ 自分の大学も出場していて、誇らしかった。
- ・ 自分の通う大学の作品もよく見ることができた。
- ・ みんな頑張っていておもしろかった。来年も見たいです。
- ・ 釜山大学Aチームは自然を生かした設計やデザインが素晴らしいと思った。開放感があってよい。

- ・ みなさんすてきなアイデアですね。これからも、もっともっと沢山学んでアイデアを出し合って、みんなが快適に過ごせる空間をつくってくださいね。
- ・ アジアの大学のパーススキルの高さに驚いた。九工大の作品は断面の説明等、分りやすく理解しやすかった。
- ・ 日本文理大は四木と四季で良いものができている。釜山大学Bチームは悠大な感じがする。
- ・ 九州工業大学のデザイン力、外観が良かった。
- ・ 北九州市立大学Bチームの理想はわかるが構造が。
- ・ 作品作りのアプローチがチーム毎に異なり趣き深い。
- ・ 九州工業大学のデザインがいいと思う
- ・ 手作り感があって面白かったです。
- ・ とても寒い日の展示会、もったいないです。また日を改めて・・・寒くて書けない。
- ・ 展示がとても見やすかった。
- ・ 釜山大学Bチームはまず自分がみて屋根の形がとても好きでした。体を動かせるスペースもあるので選びました。
- ・ 九州工業大学のダイアグラムがとてもかっこいいと思いました。
- ・ 九州工業大学の現代的な建築の中に、自然なスペースがあるのが良かった。
- ・ 日本文理大学はおもしろそうだった。
- ・ 日本文理大学は四季折々の自然を楽しむことができる場所に魅力を感じました。
- ・ 九州工業大学はおもしろそうだった。
- ・ どの展示や作品も試行錯誤されよかったですと思います。勉強になりました。
- ・ 東西大学Bチームがモダン。
- ・ 九州工業大学の模型が素晴らしいと思いました。
- ・ 九州工業大学はこれからの可能性を広げられる作品だと感じました。
- ・ さわやかな風を感じられるような、そんな空間を思い描きました。すてきなお仕事、お勉強ですね。これからも私達をアツと驚かせてくださいませ。ありがとうございました。
- ・ 釜山大学Bチームの風景の屋根が地域の風景にマッチングしている。
- ・ 九州工業大学は夢があってわくわくしました。
- ・ 九州工業大学は建物の配置や自然と間近なところがよい。
- ・ コンセプトがそれぞれ特徴があって面白かったです。ユニークなものもあり建物を訪れたいと思いました。

今回の建築展の成果としては、一般市民の方にこの活動を多くの方に知っていただき、かつ意見を聞くことが出来たことです。改善すべきこととしては、事情によりできなかったのですが、学生が模型を使って直接説明ができていれば、もう少しみなさまにはわかりやすかったと思います。

時を変え、場所を変え、毎年積み重ねて来たこのパネル展、行政の方々、学校関係の方々、建賛会の方々、多くの市民の皆様に支えられてこれたことを嬉しく思います。

公益社団法人としての弊会の活動が、今後も更に皆様の御理解と御協力をいただき、広く市民の皆様に寄与できるよう、今後も活動を続けていきたいと思っています。